

団体名		一般財団法人武蔵野市給食・食育振興財団					
①	指標名	むさしの給食・食育フェスタ及び小学校給食体験講座 参加者数の前年度比増			目標値	平成28年度比増	
	過去の実績	平成26年度	平成27年度	平成28年度	(過去の実績についての説明)		
	(単位: 人)	394	(フェスタ) 302 (講座) 29	(フェスタ) 312 (講座) 38	フェスタ開催時期は、平成26年度:7月下旬、平成27年度:8月下旬、平成28年度:8月下旬。体験講座は27年度開始。		
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目		(2) 自律的経営の促進				
	設定理由等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 給食・食育フェスタは、児童・生徒・保護者等を中心としたより広い対象者に対し、食の重要性に関する理解や興味・関心を得られる機会として事業実施する。また市内農業者・商業者の協力を得て実施することにより、地産地消に対する理解を得る機会ともなるため、より多くの参加者を得ることを目標とする。 小学校給食体験講座は、食を通じて小学校を知ってもらう機会を作るとともに、給食で提供する昼食以外、家庭での朝食の重要性を知ってもらうことを目的とする。					
事業内容	取組内容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 給食・食育フェスタの実施時期は、平成29年度にコミュニティ食堂を試行実施するため、平成28年度の8月下旬から11月下旬に変更した(なおコミュニティ食堂は、夏休みに食事を介した交流の場を作り出し、子ども供たちの食生活の改善につなげていくことを目的として行うもの)。 小学校給食体験講座は、小学校入学名の保護者に対し、小学校を「食」の観点から知ってもらうために、市子ども政策課・教育委員会との共催で、平成27年度より新規事業として行っている。平成29年度は開催回数を平成27年度と同数に戻すが、前年度に引き続きプログラムの工夫を行っていく。					
	②	指標名	学校給食提供コストの前年度比減			目標値	平成28年度比減
	過去の実績	平成26年度	平成27年度	平成28年度	(過去の実績についての説明)		
	(単位: 円)	512	508	527	6月に算出している数値は、市の決算事務が確定していないため、速報値的に算出したものである。		
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目		(1) 経営責任の明確化				
財務	設定理由等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 財団設立の目的である安全で質の高い給食の提供と食育事業を推進していくことは当然のこととして、他自治体で給食調理業務の委託化が進む現状では、コスト意識を念頭に、より廉価で安全でおいしい給食の提供が求められているため。					
	取組内容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ・契約等の見直しによる物件費の削減 ・適正な職員数の把握及び維持 ・市派遣職員の配置換え等による減員に伴う財団職員への移行					
	③	指標名	執行体制の簡素・効率化 (市派遣職員を財団固有職員への段階的な移行)			目標値	(市派遣) 1人 (固有昇任) 2人
	過去の実績	平成26年度	平成27年度	平成28年度	(過去の実績についての説明)		
	(単位: 人)	2	(市派遣) 3 (固有昇任) 5	(市派遣) △1 (固有昇任) 3	平成28年度は新たな派遣職員(運転手)により増員となった。		
財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目		(3) 人材育成と経営基盤強化					
内部管理体制	設定理由等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 ・給食調理の技術水準を低下させることのないよう、段階的に市派遣職員を固有職員に移行しながら、執行体制の効率化を図るため。 ・市派遣職員に代わり、財団固有職員が現場の責任ある職につくことで、固有職員全体の意識・意欲の向上につながることを期待できる。					
	取組内容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ・学校給食の安全及び調理等のレベルを維持することを前提に、段階的に市派遣職員を削減し、団体固有職員へ移行する。 ・しかし、将来の組織の在り方がまだ明確ではないので、財団固有職員の昇任スピードについては当面、慎重に対応する。技能長の配置により両調理場の職員の適切な管理、育成を進める。					